

岐阜県の 農地・水・ 環境保全だより



第29号
令和2年3月

〔発行〕
岐阜県農地・水・環境保全推進協議会
岐阜市下奈良2丁目13番1号
岐阜県土地改良事業団体連合会内
TEL.058-271-1326

農地や農業用水は、農業生産の役割だけでなく、魅力的な農村にとってかけがえのない大切な財産（資源）です。この資源を支えてきたのは「地域の共同活動」。これなくして、農村の環境を守ることはできません。



春の伊吹（安八郡安八町）

【CONTENTS】

- 令和元年度 東海農政局「多面的機能支払シンポジウム」…………… 2
- 令和元年度 東海農政局 多面的機能支払交付金表彰…………… 4
- 令和元年度 「清流の国ぎふ」農地・水保全フォーラム…………… 6
- 令和元年度 小水路目地補修研修会…………… 8
- 東海農政局が実施した抽出検査について…………… 12
- 令和元年度 多面的機能支払交付金に係る優良地区…………… 13
- 農地中間管理機構から情報提供…………… 14
- お知らせ…………… 16

令和元年度東海農政局「多面的機能支払シンポジウム」開催

東海農政局は、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮することの大切さを再認識してもらうために、「多面的機能支払シンポジウム」が開催されました。開会後に、多面的支払優良表彰式が行われ、本県から中津川市の『辻原、大地・水・緑の会』が“施設保全部門賞”を受賞されました。

日 時：令和2年1月23日（木）13：30～16：45

会 場：名古屋市熱田区文化小劇場

参加者：約350名

プログラム

◎ 多面的機能支払優良表彰式

施設保全部門賞 「辻原、大地・水・緑の会」
(中津川市)

組織の概要（平成30年度データ）

・農地面積：27ha

・保全施設：開水路：10km、パイプライン2.8km、農道9.6km、ため池1箇所

*受賞理由

・年6回の水路・農道の維持活動や年2回の水路補修を直営施工で実施していることや、花の植栽活動や市内一斉清掃の折に広報、啓発活動を行うなど、活動を通して9割以上の農家、非農家共に地域を保全する意識が高くなってきている。

各部門の受賞組織

最 優 秀 賞：多気町勢和地域資源保全・活動協議会
(三重県多気町)

施設保全部門賞：辻原、大地・水・緑の会（岐阜県中津川市）

環境保全部門賞：下佐みどりの会（愛知県岡崎市）

啓発普及部門賞：稲生農地・水・環境を守る会（三重県鈴鹿市）

◎ 基調講演

「多面活動組織と土地改良区のさらなる連携をめざして」

講師： 各務用土地改良区

事務局長 波能 寿子 氏

多面的事業に取り組むにあたり、事務処理というのが継続のポイントになりつつある中で、従来から本土地改良区が取り組んでいるIT化や、事務処理の省力化を目的としたソフトの導入やそのメリット、広域組織がこれからの各地域との連携を目指すためには、行政と連携してさらなるICT化を目指すことが、大切なことなどを具体的に紹介されました。



◎ 報告

「多面的機能支払交付金の全国取組と効果について」

講師： 農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室 大森 有晃 氏

多面的事業の制度の変遷や施策の評価など、具体的な数値を基に事業の効果を示し、取組面積などは、本交付金の創設以前と比較して約1.5倍に増加していることや、かなりの遊休農地が解消されたこと等を紹介され、国としては多様な分野にわたり効果が発現していることから、今後も継続して支援していくことなどが紹介されました。



◎ 取組事例発表

「地域コミュニティの構築を目指して」

辻原、大地・水・緑の会（中津川市）

代表 浅野 洋二 氏

用水路や農道の維持管理、施設の補修活動などを構成員である地域の専門家を中心とした直営施工で行っている。また、休耕田を活用したヒマワリやソバなどの植栽を通じた景観に配慮した活動を、多面的に取り組む以前から継続的に実施しているなど、地域の絆が継続して守られていることなどが紹介されました。



「活動組織の広域化への取組」

幸田広域組織（愛知県幸田町）

主査 石野 麻衣子 氏

平成19年度から幸田町において20組織で取り組み始めた活動組織が、平成29年度に幸田町全域で1つの広域組織として発足されたことが紹介されました。広域化に向けてのプロセスなど、各活動組織のメリットやデメリットを共有し、それぞれの地域へ広域化への概要説明や不安の解消、意向確認など時間をかけて議論し合意形成を図ったことや、町や土地改良区など事務局との連携などが紹介されました。



「足坂集落の地域づくり・地域おこしについて」

足坂農地水・保全組織（三重県津市）

副代表 川口 幸治 氏

津市美里町で活動する活動組織で、同じ名前の島根県美郷町と交流を図り、女性中心の獣害対策の視察を通して、女性を中心とした住民同士の交流が始まりました。島根県美郷町の女性たちに触発され、地元の営農組合に女性部が発足し、遊休農地を活用する活動が始まり、それぞれの地域の産物をコラボさせた商品として「大豆とイノシシのキーマカレー」を開発するなど、女性を中心とした活動が、行政を含めた地域を盛り上げていることなどが紹介されました。



東海農政局 多面的機能支払交付金表彰

【施設保全部門賞】

辻原、大地・水・緑の会（中津川市）



1 対象組織概要

市町村名	中津川市	活動組織名	辻原、大地・水・緑の会
活動の期間	活動開始年度	現活動計画期間	継続年数
	平成19年度	令和元年度～令和5年度	12年

2 活動計画

保全の対象となる施設（平成30年度データ）

①農用地	②開水路	③パイプライン	④農道	⑤ため池	⑥その他
27ha	10.0km	2.8km	9.6km	1か所	

構成員数及び構成団体

農業者	非農業者	構成団体
25人、6団体	41人、3団体	自治会・女性会・小中学校 PTA

本活動組織は、岐阜県の南東部に位置する中津川市の西側にある坂本辻原地域で、東に恵那山、西に笠置山を頂き、晴れた日には北に遠く御嶽山を望む風光明媚な地域にあります。農業の主なものでは水稻、夏・秋トマト、ナス、落花生、栗等があります。

辻原地域の歴史は古く1600年代に始まります。

2027年にはリニア中央新幹線・岐阜県駅の開業が予定されています。

受賞理由として評価された内容

○年6回の水路・農道の維持活動、年2回の直営施工による水路補修を行っている。

○子ども会との連携や、地域全員参加などにより、花の植栽を行っている。

○年2回の市内一斉清掃の折に広報、啓発活動を行っており、活動組織ができてから9割以上の農家、非農家共に地域を保全する意識が高くなっている。



【直営施工による水路補修】



【景観形成活動】



【清掃活動及び草刈り】

3 活動内容

水路、農道等資源の保安全管理に対する取組

- ・各施設の農地維持活動や資源向上（共同）による点検・機能診断を年度当初に行い、これから始まる新たな一年に備えます。
- ・また水路の泥上げや草刈りを行いながら、農業者一人一人がこれからの一年の営農計画や、保安全管理について話し合って作業を行います。
- ・構成員に農機具屋さんがあり、その方の講師による刈り払い機の安全講習を行い、構成員の安全に対する意識の向上を目指しています。
- ・辻原地域には4系統の水路があり、毎日曜日は泥上げ作業を行っています。



【点検・機能診断や水路の泥上げ】



【刈り払い機の安全講習】

・この制度が始まる前の参加率はあまり良くありませんでしたが、今では各水路共にほぼ100パーセントの参加率です。また自分の田んぼの近くの水路に異常があれば、年間を通して連絡があり、すぐ直せる場合には迅速に補修を実施します。少し大掛かりな補修工事になる場合は、秋の農作業終了後に実施します。



【直営施工による水路の補修工事】

・休耕田へのヒマワリやプランターでの植栽活動は、本事業に取り組む以前から実施しており、地元住民とも協力した活動が定着し、特にヒマワリの植栽については、写真愛好家が撮影に訪れ、地元新聞にも掲載されるなど、各方面から注目を集めています。



【ヒマワリの植栽】



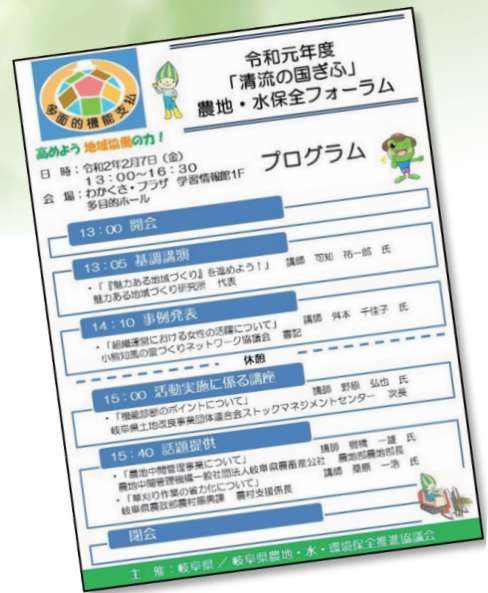
【プランターでの植栽】



【プランターに植栽する子供たち】

令和元年度「清流の国ぎふ」 農地・水保全フォーラム開催

令和2年2月7日（金）に関市のわかくさ・プラザ学習情報館1F多目的ホールにおいて、令和元年度「清流の国ぎふ」農地・水保全フォーラムを、岐阜県と岐阜県農地・水・環境保全推進協議会の主催で開催しました。県内の活動組織や関係者約340名の参加がありました。



プログラム

◎ 基調講演

「魅力ある地域づくり」を進めよう！

講師 可知 祐一郎 氏

魅力ある地域づくり研究所 代表

魅力ある地域づくりのためには、担い手の育成確保や、農地利用の最適化が必要であり、そのために地域としては何をどうすればよいのか、どのような地域づくりを目指すのかを、まずは集落で話し合い、分析することが大切であると講演されました。



講師：可知 祐一郎 氏

◎ 取組事例発表

「組織運営における女性の活躍について」

講師 舛本 千佳子 氏

小熊知風の里づくりネットワーク協議会 書記

平成19年度から多面的に取り組み、その頃から女性役員として担ってきた中で、大変苦労したことや、いろいろな問題点、女性役員としての強み、今後の展望などを具体的に話していただき、会場にいるすべての皆さんにおいても、とても参考になる事例を発表されました。



講師：舛本 千佳子 氏

◎ 活動実施に係る講座

「機能診断のポイントについて」

講師 野原 弘也 氏

岐阜県土地改良事業団体連合会

ストックマネジメントセンター 次長

多面的機能支払交付金で行う点検や機能診断について、ストックマネジメントの手法で、施設点検情報や施設の劣化進行状況の分析等について、紹介がされました。



講師：野原 弘也 氏

◎ 話題提供

農地中間管理事業について

講師 棚橋 一雄 氏

農地中管理機構 一般社団法人

岐阜県農畜産公社 農地部 農地部長

農業農村の有する多面的機能が、適切に維持・発揮されることで、多面的機能支払交付金には「担い手への農地集積という構造改善を後押しする。」といった役割があり、今後の農業につなげていくための手段として農地中間管理事業が紹介されました。



講師：棚橋 一雄 氏

草刈り作業の省力化について

講師 桑原 一浩 氏

岐阜県農政部農村振興課 農村支援係長

高齢化や担い手不足等から共同活動としての草刈が難しくなっている中で、草刈り作業の省力化を焦点に、自走斜面草刈機やリモコン式草刈機を活用した場合の効果等について、具体的に紹介されました。



講師：桑原 一浩 氏

令和元年度 小水路目地補修研修会 開催

多面的機能支払交付金の資源向上活動の共同活動における「機能診断・補修技術等に関する研修」の一環として、以下の会場において小水路目地補修研修会を実施しました。

月日	実施会場および関係活動組織等	参加者数等
11月13日	白川町 蘇原地内：そはら水と環境を守る会	11組織 27名
12月4日	羽島市 小熊町地内： 小熊知風の里づくりネットワーク協議会	7組織 16名
12月14日	輪之内町 下大樽新田地内：輪之内資源保全会	1組織 23名（16団体）



座学の様子

補修前の注意事項や補修前清掃、作業手順などの説明の後、モルタル充填工法（ガラス繊維モルタル使用）、シーリング材注入工法（変成シリコン使用）の2工法について、参加者全員が施工体験しました。

- ・ガラス繊維モルタル…通常のモルタルに比べると高額になるが、セメントにガラス繊維のチップが入っているため、ひび割れが発生し難いという特徴がある。

- ・変成シリコン…変成シリコンはウレタンに比べて紫外線に強く、乾燥後も柔軟性が高いため、水路本体との追従性が高く、道路の振

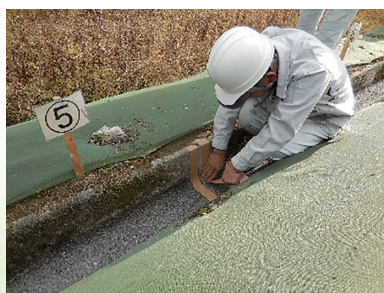
動を受けやすい箇所等に効果があると考えられる。

◆実施内容

1. 事前に、古くなった目地材（モルタル等）を除去し、高圧洗浄機やブロアーなどを活用し、しっかりと清掃を行う。（汚れが残っていると新しい目地材と一緒に外れてしまい、十分な効果が得られないことがある。）
2. ガムテープ等で、目地に合わせてマスキングする。（完成後が美しくなる。）
3. 目地の奥行きが深い場合は、バックアップ材を詰める。（資材の無駄を減らせる効果がある。）



清掃後の目地



マスキング



バックアップ材を詰める

●モルタル充填工法（ガラス繊維モルタルを使用）

1. プライマー塗布（補修材との接着を図る）
2. モルタル練り混ぜ（モルタル、水、プライマー）
3. モルタル充填（作業時には手袋を着用）
4. 充填したモルタルの表面をこて等で整える
5. マスキング除去
6. 仕上げ（マスキング除去後の段差を、プライマーで整える）
7. 完成（表面が固まれば通水完了）



モルタル練り混ぜ



モルタル充填



マスキング除去



仕上げ

●シーリング材注入工法（変成シリコンを使用）

1. プライマー塗布（補修材との接着を図る）
2. シーリング材注入（空隙ができないよう注意）
3. 表面仕上げ（ゴムヘラで整える）
4. マスキング除去
5. 完成（シーリング材が乾いたら通水完了）



プライマーの塗布



シーリング剤注入



ゴムヘラで整える



マスキング除去、完成

◆実施後の状況



モルタル充填工法

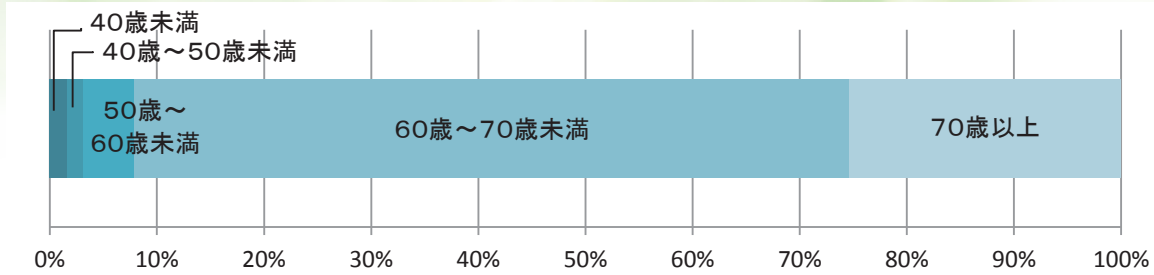


シーリング材注入工法

令和元年度 小水路目地補修研修会 アンケート集計結果

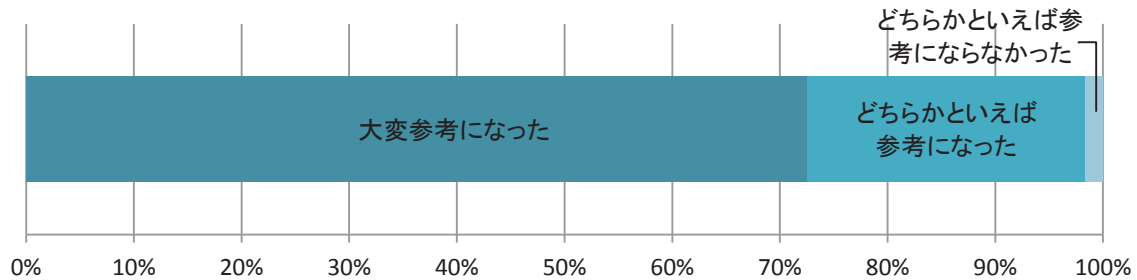
令和元年度参加者 66名

問1 あなたの年齢を教えてください。



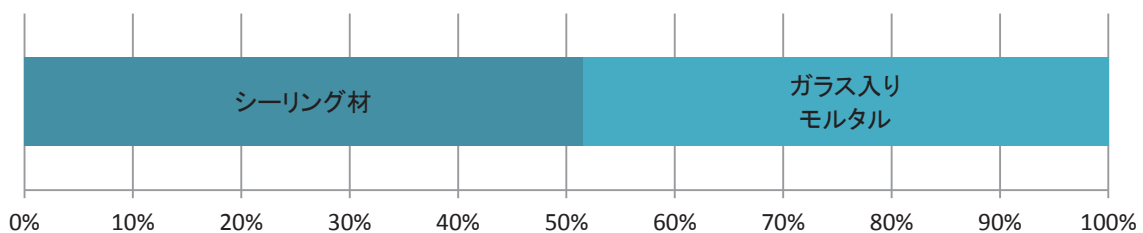
	白川町	羽島市	輪之内町	計	率
1. 40歳未満	0	1	0	1	2%
2. 40歳～50歳未満	0	1	0	1	2%
3. 50歳～60歳未満	1	1	1	3	5%
4. 60歳～70歳未満	19	9	14	42	67%
5. 70歳以上	6	4	6	16	25%

問2 目地補修研修会は参考になりましたかお聞かせください。



	白川町	羽島市	輪之内町	計	率
1. 大変参考になった	21	12	12	45	71%
2. どちらかといえば参考になった	5	4	7	16	25%
3. どちらかといえば参考にならなかった	0	0	1	1	2%
4. 参考にならなかった	0	0	1	1	2%
5. その他	0	0	0	0	0%

問3 参考になった工法は？工法名とその内容(複数回答)



	白川町	羽島市	輪之内町	計	率
1. シーリング材	13	11	10	34	52%
2. ガラス繊維入りモルタル	15	6	11	32	48%

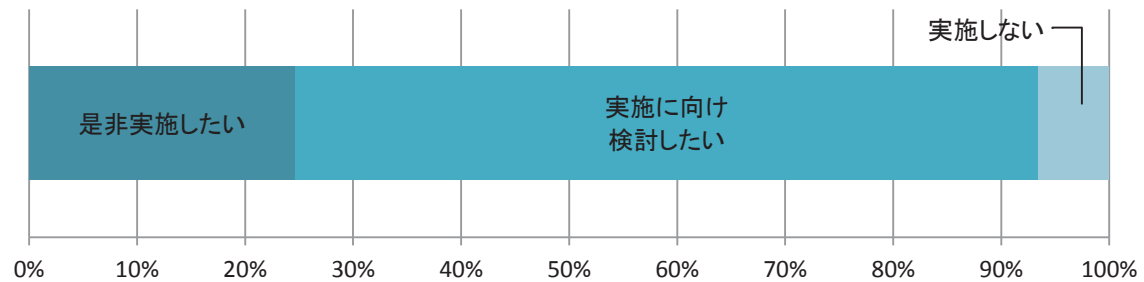
1 シーリング材

- ・作業が簡単にできた。手間がかからない。見栄えがきれいなので作業が早い。
- ・簡単で長持ち。
- ・初めて知った。非常に参考になった。
- ・具体的で実施できると思った。
- ・バックアップ材の使用により資材の節約ができることがわかった。
- ・資材、道具等の準備するものがわかった。
- ・補修前清掃や広報手順がわかった。

2 ガラス繊維モルタル

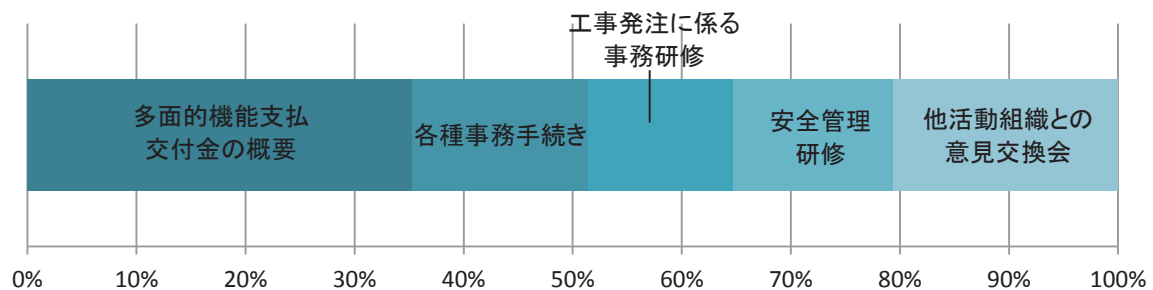
- ・モルタルの混ぜ方がわかった。
- ・吸着効果が良かった。
- ・ガラス繊維モルタルを初めて知った。
- ・モルタルの練り具合が難しい。
- ・用途に分けて使い分けしたい。
- ・下準備、材料、工事方法がわかった。

問4 本日実施された工法で今後、補修等に取り組みたいと思われますか。



	白川町	羽島市	輪之内町	計	率
1. 是非実施したい	6	4	5	15	25%
2. 実施に向け検討したい	19	9	14	42	69%
3. 実施しない	1	1	2	4	7%

問5 今後、参加したい研修(複数回答)



	白川町	羽島市	輪之内町	計	率
1. 多面的機能支払交付金の概要	13	6	5	24	35%
2. 各種事務手続き研修	6	3	2	11	16%
3. 工事発注に係る事務研修	1	2	6	9	13%
4. 安全管理研修	5	4	1	10	15%
5. 他活動組織との意見交換会	5	3	6	14	21%
6. その他	0	0	0	0	0%

問6 その他お気づきの点があればご記入ください。

- ・B型アーム(排水)を使用した水路が大部分であるため、その補修方法等の研修を希望する。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

この目地補修講習会については、今後も継続して実施していく予定です。今回お寄せいただいた反省点やご要望等については、今後の研修等の参考にしていきたいと思っています。

東海農政局が実施した抽出検査について

○ 東海農政局が令和元年7月22日～11月26日に実施した抽出検査で、指導助言があった内容についてお知らせします。

1. 総会について

- ・規約に則り、毎年度行うこと。
- ・議事録を整理し、総会の構成人数や参加者数、委任状の人数、欠席者数等を明記すること。
- ・欠席者へは、総会資料や議決内容について、資料の配布や回覧等必ず実施すること。

2. 活動計画書との整合性について

- ・活動は活動計画書のとおり行い、変更が必要であれば活動計画書の変更手続きを行うこと。

3. 日当等の支払いについて

- ・日当を支払う活動やその単価等、草刈り機等の借用代支給の有無やその単価等、活動組織の内規等書面で取りまとめ、総会で合意を得ておくこと。

4. 交付金の次年度への持越しについて

- ・次年度への持越しは、持越し内容を明確にする必要がある。
- ・次年度の交付金が交付されるまでの間（概ね4月～6月の間）の活動資金を確保するためであることに留意すること。
- ・持越し理由がない場合は、持越しはできない。返還が必要となる。
- ・実施状況報告書で、持越し金額とその使用予定を具体的に示す必要がある。
- ・持越しした交付金は、使用予定のとおり執行する必要がある。

5. 外注工事の見積り等の基準について

- ・見積りは、3者以上から徴収することを基本とし、例外的に3者未満とならざるを得ない場合にはその理由を明確に整理のうえ契約書類等と合わせて保管すること。（1社だけでは適正価格かどうかの判断ができないため、国では最低3者以上と指導している。）
- ・発注方法や見積徴収先の選定は、市町村などが定める方法に沿って行うこと。

6. 活動組織が取りまとめる資料等について

- ・書記や会計だけでなく、役員同士、複数の目で書類を確認するように努めること。

7. 長寿命化の直営施工について（広域活動組織の要件を満たす場合は除く）

- ・長寿命化に取り組む場合、直営施工（準備工として、工事前の除草や工事後の清掃なども含まれる）を実施しない場合は長寿命化の交付単価が5 / 6になる。
- ・直営施工実施の証拠書類（活動記録や実施写真など）は、必ず整理しておくこと。

8. 「多面的機能の増進を図る活動」に取り組む場合の広報活動について（中山間地域は除く）

- ・共同活動の「多面的機能の増進を図る活動」に取り組む場合は、広報活動が必須である。
- ・農村環境保全活動における「啓発・普及」の広報活動に取り組む場合は、その広報活動とは別の広報活動の実施が必要。

令和元年度 多面的機能支払交付金に係る 優良地区が決定しました！

令和元年度の優良活動組織として、各市町より推薦された以下の5活動組織が、令和2年2月17日に開催された岐阜県農地・水・環境保全推進協議会の幹事会において承認されましたので、ご紹介いたします。

表彰地区の概要

○ 羽島市 なかひがしこやぶちいき 中東小穀地域づくりネットワーク協議会 きょうぎかい

～集落営農組織と協議会の連携活動～

農道の法面の防草対策として、毎年ヒメイワダレ草の植栽を行ったり、花いっぱい運動に取り組み、チューリップのプランターを道路の路肩に並べて景観形成の保全に取り組んでいる。また、本年度から「女性部」を新設して、休耕田にさつま芋や花の植栽を行って保安全管理に努めている。総会を単なる議案審議の形式的なものではなく、ワークショップ形式による意見交換の場としている。



植栽されたヒメイワダレソウ



サクランボの収穫体験

○ 養老町 むらほらのうち 室原農地、水環境保全組合 みずかんきょうほぜんくみあい

～各種団体との共同活動～

1つの農業者団体と11の非農業者団体が連携しながら、水路の草刈りや泥上げ、施設法面への防草シート張りを実施したり、ゲートやポンプの塗装作業等の補修工事を、構成員が協力して自分たちで行っている。また、スマイルロードと名付けられた農道に、こども園園児らがサクランボの収穫体験を行ったり、ハッピーロードと名付けられた農道には、八重桜を植樹して、地域の潤いの場所を提供している。

○ 関市 あとべくのうち 跡部区農地・水保全会 みずほぜんかい

～小集団活動による草刈り、立木伐採、水路の補修～

毎回、小集団活動として、跡部区関係者全員に呼びかけ、春は農業用水路の清掃活動、夏から秋にかけては地域内の草刈り、冬季には河川敷の立木除去等を農用地区域と一体となって行っている。また、水路の目地補修研修会をきっかけに、構成員が力を合わせて自分たちで目地補修を実施している。地域の掲示板には、その年の活動内容を掲載し、誰もがいつでも確認できるよう活動の啓発普及に努めている。



水路の草刈り



農業体験

○ 白川町 さしみどり 佐見の水土里を育む会 はくむかい

～清流を大切に作る農業を次世代の子ども達へ残し伝える～

園児から中学生を対象に、環境の専門家を招いて、生態系観察保全活動を行い、清流を地域で守ることの重要性を学んだり、地元の小学生を対象に田植えや稲刈り、脱穀などの農業体験を通して、収穫に対する感謝とお礼の気持ちを育んでいる。また、大人たちは、農地維持活動等に加え、「佐見の道と川を守る会」を結成し、活動組織の構成員となって、年4回の清掃活動を農用地区域一体となって行っている。

○ 高山市 にしほら 西洞を守る会 まもるかい

～昔の八尺川を取り戻そう～

地区中央部を流れる「八尺川」を、上流域の開発等で悪化した環境を改善するため、セラミック炭による水質浄化対策などの環境保護活動を、集落が一丸となって行っている。その結果、近年では蛍が飛び交い、アマゴや鮎の姿も観察できるようになってきた。また、花の植栽等を行い、農用地や農用用水路等を見学しながら歩くウォーキングなどの活動を通して、地域の繋がりが強くなってきている。



地区中央部を流れる八尺川

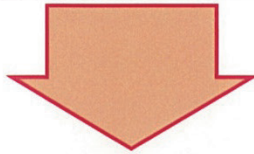
農地中間管理事業が新しくなります！

改正の背景

- 農地中間管理事業が始まって5年経過。目標に向かい更に事業を加速化する必要。
- 担い手が不足する地域等において、関係者が一体となって推進する体制を構築する必要。

改正の概要

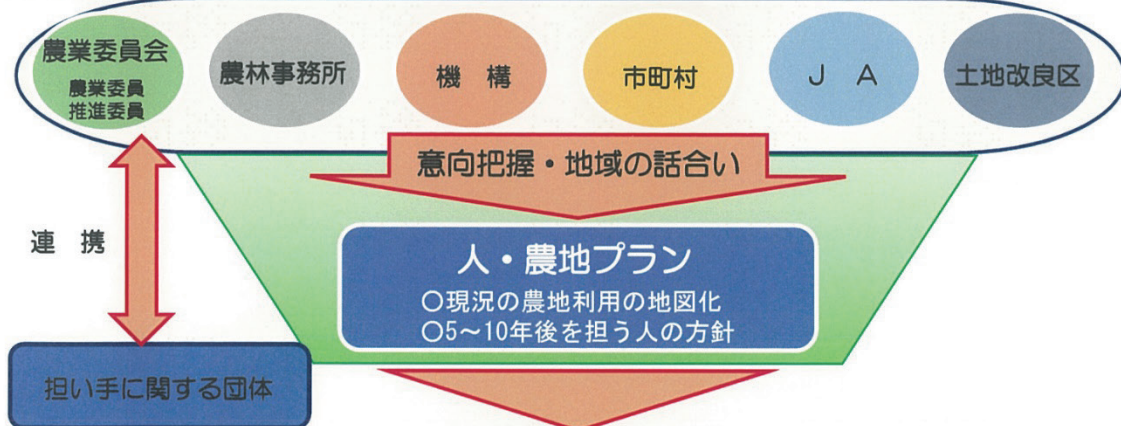
- 地域における農業者等による協議場の実質化
- 農地中間管理機構の仕組みの改善
- 農地の集積・集約化を支援する体制の一体化（農地利用集積円滑化事業との統一体化）
- 担い手の確保等



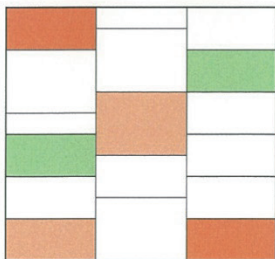
これまでの集積・集約化の推進に係る取り組み状況

- 機構、市町村、農業委員会、JAなどが独自に働きかけ
- 情報が集まらない、意見交換が行き詰まる
- なかなか農地の集積・集約化が進まない

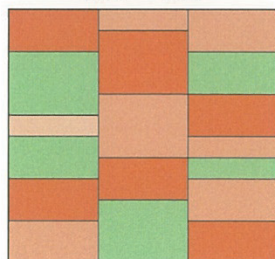
農地利用の最適化に向け「人・農地プラン」を核に一体的推進



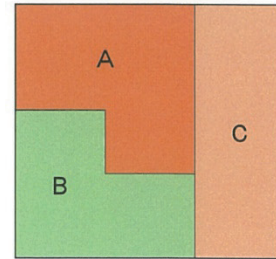
【分散・錯綜】



【集積】



【集約化】



※農地利用の最適化＝農家の「意向把握」＋地域での「話し合い活動」
⇒ 農地を動かす！

農地中間管理機構は以下の体制で事業を推進しています。

岐阜県農地中間管理機構
 一般社団法人岐阜県農畜産公社 農地部
 2019年度 業務執行体制

担当者	連絡先
農地部長 棚橋 一雄 農地企画課長 桐本 真 主 事 児玉 将秀 主 事 加納 稜士	<事務局> 住所 〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎内 TEL 058-215-6434 FAX 058-215-6435 E-mail gifu-kiko@gifu-notiku.com URL http://www.gifu-notiku.com/
農地専門員 村瀬 寧男	<岐阜地域担当駐在(駐:岐阜市)> 住所 〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎内 TEL 058-215-6434 FAX 058-215-6435 E-mail murase-y@gifu-notiku.com
農地専門員 井上 義彦	<西濃・揖斐地域担当駐在(駐:大垣市)> 住所 〒503-0838 岐阜県大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎 5F TEL 070-2225-5317 E-mail inoue-y@gifu-notiku.com
農地主任専門員 古川 昭二	<中濃・郡上・可茂地域担当駐在(駐:関市)> 住所 〒501-3874 岐阜県関市平和通6-11-1 関市勤労会館内 TEL 080-6971-4212 E-mail furukawa-s@gifu-notiku.com
農地専門員 宮地 浩二	<東濃・恵那地域担当駐在(駐:恵那市)> 住所 〒509-7203 岐阜県恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎 4F TEL 070-2225-5381 E-mail miyachi-k@gifu-notiku.com
農地専門員 大平 茂	<下呂・飛騨地域担当駐在(駐:高山市)> 住所 〒506-8688 岐阜県高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎 3F TEL 080-6971-4213 E-mail oohira-s@gifu-notiku.com

**これから、地域で様々な形で話し合いが進められると思います。
 必要に応じ、機構農地専門員にお声かけください!!**

◆お知らせ◆

◎多面的機能の増進を図る活動における広報活動の要件化

平成30年度に5年間の活動期間を終了し、令和元年度以降も活動を継続する場合は活動計画の再認定となりますが、資源向上（共同）活動の多面的機能の増進を図る活動に取り組む活動組織は広報活動が必須となりますので留意して下さい。（中山間地域は除く。）

当協議会は、本制度の啓発普及のため、のぼり旗を作成しました。活動時の集合場所の目印や、活動区域のお知らせ等に活用してください。

なお、のぼり旗設置の場合は、風等で倒れないようしっかりと固定し、車両等通行の妨げにならないよう注意しましょう。

市町村の皆様方には、活動組織への配布等について大変お世話になり誠に申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。



今年も田ケローは大活躍！！

今年も田ケローは各地で大活躍 どこへ行っても人気者だよ！



令和元年10月26日、27日 岐阜県農業フェスティバル（岐阜市）



令和元年11月10日 ぎふ水土里の展示会 第7回 舞台峠うまいもん祭りにて（下呂市）



*田ケロー（着ぐるみ）は貸し出しもしています。
県内ならどこでも参上するよ！
岐阜県農地・水・環境保全推進協議会に問い合わせを！！

皆様からの「地域の活動状況」「地元の声」などの投稿をお待ちしております。

（投稿先）〒500-8385 岐阜市下奈良2-13-1 岐阜県農地・水・環境保全推進協議会

TEL 058-271-1326 FAX 058-275-0143

E-mail : nouti-mizu@gifudoren.or.jp

ホームページ <http://www.gifudoren.or.jp/kyogikai/> 岐阜県農地・水・環境保全推進協議会 検索